

## JENESYS2018 ASEAN 派遣プログラム第1陣の記録

テーマ：日本文化・技術交流

派遣国：シンガポール共和国

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、日本の大学生 18 名が、シンガポール共和国へ派遣され、派遣国における、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進、及び日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2018 年 10 月 9 日～10 月 17 日の日程で「日本文化・技術交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、政府関係者との面談、日本の日系企業等の現場の視察を行い、日本と派遣国との関係、及び日本の国際貢献に関する知見を深めました。そして、学校交流において、日本や日本の文化/技術の説明、実演を行い、同世代の学生との友情を深めるとともに、日本の魅力を発信しました。また、ホームステイを行い、地域の人々と交流し、相互理解を深めました。帰国前の報告会では、プログラム中の発見と、プログラム経験を活かしたアクション・プラン（帰国後の活動計画）について大学毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】横浜国立大学 6 名、秋田大学 6 名、大阪大学 6 名

#### 【交流時の日本事情の説明概要】

大阪大学：オノマトペと文化について

秋田大学：秋田の春夏秋冬、秋田の農業について

横浜国立大学：日本の祭りについて

実演披露：ラジオ体操、よさこい、日本の祭りの再現

### 2. 日程

- |           |                                                                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月9日(火)  | 【オリエンテーション】 成田国際空港出発、チャンギ国際空港到着                                                                  |
| 10月10日(水) | 【表敬訪問】 在シンガポール日本国大使館（ジャパン・クリエイティブ・センター）<br>【日系団体訪問】 日本貿易振興機構（JETRO）シンガポール事務所、<br>【文化視察】 マーライオン公園 |
| 10月11日(木) | 【学校交流】 南洋理工大学                                                                                    |
| 10月12日(金) | 【学校交流】 シンガポール国立大学、【ホームステイ】                                                                       |
| 10月13日(土) | 【ホームステイ】                                                                                         |
| 10月14日(日) | 【文化視察】 プラナカン博物館、商業施設、アラブ・ストリート、<br>リトル・インディア、チャイナタウン<br>【視察】 ニュー・ウォーター・ビジター・センター                 |
| 10月15日(月) | 【日系企業訪問】 シンガポール日本通運(株)、【ワークショップ】                                                                 |
| 10月16日(火) | 【成果報告会】、シンガポール出国                                                                                 |
| 10月17日(水) | 帰国                                                                                               |

### 3. プログラム記録写真

	
<p>10月10日【表敬訪問】 在シンガポール日本国大使館</p>	<p>10月10日【文化視察】 マーライオン公園</p>
	
<p>10月11日【学校交流】南洋理工大学</p>	<p>10月12日【学校交流】 シンガポール国立大学</p>
	
<p>10月13日【ホームステイ】</p>	<p>10月14日【視察】ニュー・ ウォーター・ビジター・センター</p>
	
<p>10月15日【日系企業訪問】 シンガポール日本通運(株)</p>	<p>10月16日【成果報告会】</p>

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### 大学生（秋田大学）

今回の訪問では、シンガポールの文化への寛容さが印象に残りました。他の国に比べ、比較的新しい国だということで、食べ物や宗教などの多様性がありました。また、それぞれの違いについて、互いを認め合って共存しているのが普段の生活からも感じ取ることができました。日本は、ほとんど単一民族国家であり、シンガポールと比較すると、あまり文化の違いに寛容ではないかもしれません。しかし、これからさらに世界に日本の魅力を発信し、世界の人々との関わりも増えていく中で、やはり日本側も、多様性を受け入れる素地を作る必要があると感じました。今後、アクション・プランを通して日本の魅力を世界に発信していきますが、個人的には今回のプログラムで感じた他の国の魅力を周りに伝えることもしていきたいと思います。

##### 大学生（横浜国立大学）

このプログラムを通して、「日本が誇れることは何か」について考えさせられました。シンガポールに行く前までは、「日本はすごい国！アジアの先進国！」と聞いていたが、大学の教育水準の高さや企業のスケールの大きさ、技術力の高さに圧倒されてしまいました。でも、どこへ行っても、「日本人なの！？これ知ってる？」と日本について嬉しそうに話してくれる人を見ると、日本を誇らしく思えました。シンガポールは若い国と言われるように、歴史は浅く、これから発展していく要素はたくさんありました。逆に日本は歴史が長く、四季もあり、北海道から沖縄まで各地域、それぞれの魅力があります。そして東京のような都会でアジアを引っ張っていける機能も持ち合わせています。それがうまく融合できているのが日本なのではないかなと思いました。

##### 大学生（大阪大学）

今回の大学訪問では、シンガポールについて学んだ上で、気になったことや現地学生の思うシンガポール社会の特徴について質問し、たくさんの魅力を知って、とても素敵な国だなと思い、それを伝えることができました。そのような会話で友好関係を築くことができたからこそ、その先の日本の魅力発信につながったと思っています。シンガポールの学生と相互理解を深め、互いの国の社会、国民性のちがいについて語り合えたことはとても有意義であったと思っています。その中で、シンガポールの学生から、日本のこういうところがいいね、そういうところが好きだよ、と言ってもらい、さらにコアな日本の観光地や社会システムについて興味を持って質問してくれました。私は、今後も国レベル、市民レベルにかかわらず国際交流に積極的に参加し、日本について正しい知識と魅力を海外の人に知ってもらいたいと思っています。その中で、まず相手に興味を持ち、理解することで信頼関係を築くことが重要であることを、今回の訪問を通じて再認識することができました。

#### 5. 受入れ側の感想（抜粋）

##### 大学生（南洋理工大学）

JENESYS プログラム参加者は、日本人学生も南洋理工大学学生も、交流を通じて多くを学ぶことができたと本当に思います。双方のパフォーマンスを見たり、いろいろなことを説明したりすることで、お互いの文化に光をあてることができました。でも、もちろ

んこの一度の交流だけではすべてを理解するには十分ではないので、私を含めて私たちはみんな、もっと日本文化を理解する機会をもつべきだと思いました。

**大学生（南洋理工大学）**

日本の学生はラジオ体操や踊りに誘ってくれて、とても魅力的で、体操や踊りは楽しかったです。プレゼンテーションは、見ている人に質問をしたり、「緑茶」や「おせんべい」などのサンプルを見せたりと、見ている人たちに魅力を感じさせるものでした。私は日本の夏祭りに行ったら、出店の余興などをぜひやってみたいと思います。このプログラムを通して、北海道、大阪、秋田など、日本のさまざまな県について学びました。ネットなどで読んでも見つけられないような日本の多くのことについて、この交流から学びました。日本の学生との交流は楽しかったです。この交流を通して得た最大のものは、NTUに日本の学生をお迎えした経験と、彼らがこの訪問を楽しんで、そして見せてくれた幸せそうな顔です。

**大学生（シンガポール国立大学）**

私は今回初めて学校交流プログラムのホストをしましたが、プラン通りに本当にうまく実施できました。たくさんの日本人学生と話をすることができ、新しい友達もできました。日本文化についてもいろいろ学ぶことができ、ぜひまた日本を訪れたいなと思っています。様々な大学を訪問したいですし、来年もこのプログラムに参加したいと思いません。

**6 . 参加者の対外発信**

	
<p>シンガポール国立大学での交流について</p>	<p>成果報告会について</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>Action plan①『#日本からおはよう』 By using Instagram</p> <table border="1"> <tr> <td><b>Field</b> economy, social, seasons, common of Japan</td> <td><b>Contents</b> Common life of Japan</td> <td><b>To whom</b> People all of the world</td> <td><b>When</b> Every Sunday</td> </tr> </table>	<b>Field</b> economy, social, seasons, common of Japan	<b>Contents</b> Common life of Japan	<b>To whom</b> People all of the world	<b>When</b> Every Sunday	<p><b>【横浜国立大学】</b> 日本人が当たり前知っている日本の文化、経済や日常生活が日本以外に住む人々には実際認識されていないので、Instagramの#日本からおはようというハッシュタグを使い、独特で目立つ写真を掲載したり、中国語、韓国語、英語、日本語、フランス語で記載したりしてグーグルでより検索し易くします。</p>
<b>Field</b> economy, social, seasons, common of Japan	<b>Contents</b> Common life of Japan	<b>To whom</b> People all of the world	<b>When</b> Every Sunday		
<p>The way to promote</p> <p>1. Social Media  Instagram, Facebook, Twitter</p> <p>2. Presentation at facilities in Akita</p> 	<p><b>【秋田大学】</b> SNSの利用を継続することがアクション・プランの一つです。食べ物、四季、お正月や祭りなどの習慣、風景や歌など日本人誰もが知っている日本の生活様式を一週間に一度InstagramやFacebookに投稿し、様々な面白い事柄について発信します。</p>				
<p>Action Plan by Osaka University</p> <table border="1"> <tr> <td>JapaNiche Tour for Japan Experts</td> <td>Website "World culture in Japan"</td> </tr> </table>	JapaNiche Tour for Japan Experts	Website "World culture in Japan"	<p><b>【大阪大学】</b> 大阪大学にいる留学生にあまり知られていない阪急沿線のマイナーな観光地を巡る1日ツアーを行いローカル観光地の魅力を紹介し、海外であまり知られていない日本の魅力を知ってもらうとともに、参加者にその感想を書いてもらって、在シンガポール日本国大使館ジャパン・クリエイティブセンターの定期刊行雑誌に掲載します。</p>		
JapaNiche Tour for Japan Experts	Website "World culture in Japan"				